

『電源&アクセサリ大全 2014』におきまして、以下の誤りがありました。
読者の皆様、関係各位にお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

(PDF を印刷して挟み込んでご使用をいただけましたら幸いです)

・57 ページに掲載の ACROLINK の電源ケーブル、7N-P4030 II PC-N と 7N-P4030 II PC-R の導体素材について、本文中に誤りがありました。正しくは SPEC 欄にあります「D. U. C. C. Stressfree7N Cu」になります。また 7N-P4030 II PC-R の端子部はオヤイデ電気カスタム仕様の、037 系ではなく、004 系になります。

・55 ページに掲載の ACOUSTIC REVIVE の電源ケーブル、POWER STANDARD の本文が違う原稿になっていました。正しくは以下になります。

POWER STANDARD

ACOUSTIC REVIVE

¥28,350/2m

●概要と特徴～音質レポート

**鮮度が高くシャープな立ち上がり
ブリリアントで空気感の表現も魅力**

導体はPCOCC - Aの3・5スクエアで、プラグは松下電工のホスピタルグレード。コネクタにはフルテックの金メッキのものを採用している。鮮度感の高さとか、特有のシャープな立ち上がりに魅力を感じる製品だ。低域レンジが広く、周波数特性的に盛り上がりはしないものの、その充実した感じが高域域にいい影響を与えている。女性コーラスの艶やシンバル、ギターのブリリアントな感じ、録音現場の空気感などの表現が上手。音場は左右に広いが、音像がやや低めの位置に見える。どこかの帯域に強調感を感じさせないのもストロングポイントだ。

●お薦め用途と使いこなしアドバイス

鮮度感の高さとか、特有のシャープな立ち上がりを生かすという意味では、フォノイコライザーやDAコンバーターといった変換系に使って、音楽との距離を縮めてくれそう。また、音色的に高域の表現力が高いので、プリアンプやプリメインアンプに使って、艶や張りの音を楽しみたい。